

# — 築地エリア再開発の検討 —

弁護士 小池 達子

第3回築地再開発検討会議 平成30年1月25日

満足

I 陸・水(海、川)・空

II 必要性

III アミューズメント要素

# I -1 陸

## ① 道路

### <環状交差点>の積極的な導入



警察庁・都道府県警察

平成26年9月1日施行 「環状交差点における車輛等の特例に関する規定の整備」

- ・十字路交差点に比べて出合い頭の事故率が低い
- ・混雑が少ない
- ・信号機がない → 災害時の停電の影響が少ない

## ② エリア内の工夫

### 再開発の各整備において検討・計画

- ・ 築地エリア内での通行車両の台数を抑える  
↓
- ・ <許可された車両のみ通行が可能>という区域を  
広く設ける  
↓
- \* 築地エリア内での  
車両以外の移動手段の確保が必要
  - 循環バス(電気自動車、EVなど)
  - レンタル自転車・・・自転車道路を整備
  - バリアフリーの歩行者道路
- \* 効率的な荷捌き場所

### ③ II 必要性

#### ＜国際紛争を解決する拠点＞を設置する

- 国際取引・投資分野での紛争解決方法として、  
国際仲裁が定着してきた  
国際仲裁のメリット；  
執行力、秘匿性、迅速性、中立・公平性
  - 欧米：著名な国際仲裁機関
  - アジア：仲裁振興のための競争が激化  
シンガポール、香港、韓国、マレーシアなど
- 現状・・・日本は、国際仲裁地として、国際的な知名度が低い

- シンガポール ；  
[ Maxwell Chambers ] 紛争解決センター  
仲裁廷、会議室、通信機器など  
最新鋭の設備を完備  
\* 仲裁機関 シンガポール国際仲裁センター(SIAC)
- 日 本 ；  
国際仲裁の取り扱いを  
活発にしていくことが望まれる

築地に、

＜国際的な紛争解決の拠点＞を設置

国際仲裁を扱う日本初の専用施設



東京（日本）：国際紛争解決のハブ化

## ④ その他 ～未来を見据える～

- 公共施設、公共空間  
目的：世代間交流を実現する
- 環境面  
効率的なエネルギー利用の徹底
- 象徴的な存在 ← 国内外から認識される  
多目的に活用できる広場  
特徴的な建造物(形、高さ)

## I - 2 水(海・川)

- 親水性のある空間、水辺の魅力を活用  
浜離宮恩賜庭園との連続性  
… 「緑・水・広場」 安永委員ご提案
- 水辺の周遊回路
  - バリアフリー
  - 歩行者専用レーン
  - 自転車専用レーン } 完備する
- エリア内 水上の移動手段の創設

## I - 3 空

- ・ 築地エリア内の移動手段を確保する
- ・ 俯瞰の視点を体験できる

築地エリア内のモノレールなど

## Ⅲ アミューズメント要素

観覧車：

ロンドンアイ

シンガポール・フライヤー

\* バリアフリー



第1回築地再開発検討会議 資料より

# < 手続き >

決定までの過程；

- ・ 透明性
- ・ 将来、必要に応じて検証  
関係する資料・文書の整理、保管